

バッチモードの設定 ※1つ設定して下さい



BATENA0.

バッチモードオフ(出荷時の設定)

通常のワイヤレススキャナになります。



BATENA1.

自動バッチモード

通常のワイヤレススキャナになります。  
無線通信圏外になると蓄積し、圏内に戻ると自動的に蓄積データを送信します。



BATENA2.

棚卸バッチモード

スキャナが蓄積モードになります。  
蓄積データを送信したら、スキャナの蓄積データを削除します。



BATENA3.

持続バッチモード

スキャナが蓄積モードになります。  
蓄積データを送信しても、蓄積データはスキャナに残っています。

蓄積データの送信、削除 ※棚卸バッチモード、持続バッチモードのときに使えるメニューです



BAT\_TX.

棚卸の記録を送信

蓄積データを送信します。



BATCLR.

すべてのコードを削除

蓄積データを削除します。

蓄積データの送信方法

- ・ スキャナをベースに置いて下さい。数秒待つと、蓄積データを送信します。
- ・ または、「棚卸の記録を送信」メニューを読み取って下さい。

**ご注意** 特に、持続バッチモードを使う場合、作業が終了したら蓄積データを削除するようにして下さい。

- ・ すべてのバッチモードはスキャナに蓄積データが残っていると、スキャナがスリープしません。
- ・ スキャナはバッテリー切れになると、蓄積データが消えます。

※スキャナに蓄積データがないときは 60 分後にスリープします。※例えば、蓄積データが残ったまま充電しない状態で放置すると、翌日バッテリー切れになっていて、すぐ使えない状況になるおそれがあります。

文字が抜けるときの対策

蓄積データを送信すると、文字が抜ける場合、「ディレイ設定する」を読み取って下さい。データの送信速度を遅くします。



DLYCHR2;BATDLY1000.

ディレイ設定する



DLYCHR0;BATDLY0.

ディレイ設定しない(出荷時の設定)